

工事名称: 名立浄化センター管理棟耐震補強工事
工務概要: 1. 工事場所 上越市 名立区名立大町 地内 2. 敷地面積 3,784.00㎡
3. 工事内容 建築耐震補強工事に伴う機械設備工事

4. 工事項目 (建物概要)
建物名称: 名立浄化センター
構造: RC造
階数: 3階
延べ面積 (㎡): 2,559.00㎡
消防令別表第1

- 仕様書
1. 共通仕様
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。
新築及び増築に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁庁舎補修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事項) 平成28年版」(以下「仕様」という。)

表: 仕様書
表頭: 項目, 仕様
項目1: 1.1.2 [1.1.2] 用語の定義
項目2: 1.4.2 [1.4.2] 構材の品質等
項目3: 1.4.5 [1.4.5] 構材の検査等
項目4: 1.6.1 [1.7.1] 工事検査

- II. 特記仕様
凡例
(1) 章と項目は番号に○のついたものを適用する。特記事項は○印と○のついたものを適用する。
(2) 特記事項で、○印のない場合は、※印を適用する。●印と○印のある場合は○印のみ適用する。
(3) 根拠項目の「a-b-o-d」は欄仕並びに改修欄仕の a 欄 b 欄 o 欄 d 項を表す。

表: 仕様書
項目: 1. 工事実施情報の登録
項目: 2. 概工工期
項目: 3. 内部の工事期間等
項目: 4. 主任技術者等の資格
項目: 5. 電気保安技術者

6. 発生材の処理
7. 構材の検査に伴う試験
8. 技能士
9. 見本施工
10. 完成図等
11. 施工図等の取扱い
12. 工事完成写真
13. 工事施工状況写真
14. 他工事との取扱い

1. 溶接部の非破壊検査
2. 吊り及び支持
3. 管の埋設
4. 埋設配管の表示
5. 埋め戻し土・盛土
6. 耐震措置

表: 耐震設計
表頭: 設置場所, 耐震安全性の分類
表内容: 上層階・屋上及び増築, 中間階, 地下階・1階

1. 足場
2. 仮設仕切り
3. 仮設建物等
4. 工事用水
5. 仮設電力等
6. 養生
7. 養生処理
8. 地業工事
9. 鉄筋工事
10. コンクリート工事

11. 電動機
12. 容量等の表示
13. 電源周波数
14. 電圧
15. 総合調整

表: 衛生
表頭: 材料及び施工順序, 保温厚さ (mm), 施工範囲
表内容: 1. 保温層, 2. 粘着テープ, 3. 防水シート, 4. ステンレス鋼板

2. 空調
(3) 鋼板製タンクの保温 (要 ※ 不要)
(4) ステンレス鋼板製パネルタンクの保温 (要 ※ 不要)
(5) 給排水の保温主材はポリスチレンフォームカーパースとする。(65A以上)
(6) 屋内露出管の保温で合成樹脂製カーパ-2 (ジャケットタイプ) の使用箇所

表: 保温
表頭: 材料及び施工順序, 保温厚さ (mm), 施工範囲
表内容: 1. 保温層, 2. 鉄線, 3. 防水シート, 4. ステンレス鋼板

3. 消音
サブリライチャンパー
消音チャンパー・消音エルボ
レタンチャンパー
吸出口ボックス

5. 塗装の箇所
6. 鋼材工事の防錆
7. 大排便洗浄方式
8. 小便器
9. 水栓
10. 自動水栓
11. 温水洗浄便座

1. 給水方式
2. タンク
3. 量水器
4. 量水器
5. 弁
6. 弁掛
7. 配管材料
8. 飲料水の水質

1. 排水方式
2. 配管材料
3. 衛生器具等の排水管

4. 塩ビ立管の通気金物
5. 巾着・ため樹
6. 試験
7. 試験
8. 配管材料
9. 煙突煙道等

1. 保温層
2. 粘着テープ
3. 防水シート
4. ステンレス鋼板

表: 1. 消防設備等の種類
表頭: 種類, 仕様
表内容: 1. 消防設備等の種類, 2. 配管材料, 3. 土中埋設管の電気防食, 4. 集合装置, 5. ガス設備, 6. ガス漏警報器, 7. ガス警報機

表: 1. 機器の寸法
表頭: 機器の寸法, 仕様
表内容: 1. 機器の寸法, 2. 機器の固定等

表: 1. 処理対象人員
表頭: 処理対象人員, 仕様
表内容: 1. 処理対象人員, 2. 処理水量, 3. 放流水水質, 4. 処理種別, 5. 型式, 6. 施工範囲

表: 1. 空気調和方式
表頭: 空気調和方式, 仕様
表内容: 1. 空気調和方式, 2. 設計温湿度条件, 3. 煙道等, 4. 放熱器付属品, 5. グ/外

表: 1. 吸入口及び吸出口
表頭: 吸入口及び吸出口, 仕様
表内容: 1. 吸入口及び吸出口, 2. 風量測定口, 3. 風量調節, 4. 防煙シャッター

表: 1. 空気調和設備
表頭: 空気調和設備, 仕様
表内容: 1. 空気調和設備, 2. 量水器, 3. 弁, 4. 配管材料, 5. 飲料水の水質

表: 1. 機器名
表頭: 機器名, 部位, 計器, 温度, 圧力, 流量, 計測, 備考
表内容: 1. 冷凍機, 2. 吸収冷凍水器, 3. ボイラー, 4. 温水発生機, 5. 空気調和機, 6. 熱交換器, 7. 冷水水ヘッダ, 8. 空気調和機, 9. 温水発生機, 10. 温水発生機, 11. 温水発生機, 12. 温水発生機, 13. 温水発生機

株式会社 東洋設計
一級建築士 (大臣) 登録 第109196号
山谷 通

工事名称: 名立浄化センター管理棟 耐震補強工事
図面名称: 機械設備工事 特記仕様書 (1)
縮尺: N, S
日付: 31/03/06
図面番号: AM-00-1

① 設計	区分 ※低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト 使用ダクト ※パイラルダクト (長方形ダクトとの使い分けは図示による) ・コーナールート工法ダクト (長辺の長さ1,500mm以下) ※共振フラナジ工法 ・スライドオンフラナジ工法 ・アングルフラナジ工法ダクト (長辺の長さ1,500mm超) 材質 ※ 亜鉛鉄板 ・スチレンス鋼板 ( ・ A工法 ・ B工法 ) ・硬質塩化ビニル板 ( ・ A工法 ・ B工法 ) ・塩化ビニル板 (厚さ ※0.2mm ・ mm) 下記のダクトは標準仕様書第3巻表3.2.2.2よりも1番手厚いものを使用する。 ( ・ 扉開閉排水ダクト ) 制気口およびダンパーは14.空気を確保設備による。 水抜き管 ・ 要 ・ 不要	3-2.2.1 3-2.2.2 3-2.2.3	1.6 排煙設備 1.7 自動制御	3-2.2.4 3-4.16.5 4.2.4.2 4.2.4.3	2. 多連集所の排気ダクト 3. 中央監視制御 2. 総合調整
		3-2.2.1 3-4.16.5 4.2.4.2 4.2.4.3			
1. 公共事業業務費調査	※協力する。				
2. 工事監理方式	共同監理 ( ・ あり ※なし )				
3. 適用基準等	工事運行マニュアル (上越市都市整備部建築土木課作成) ・ 各種工事電子納品要領 (案) (国土交通省大臣官房官庁庁舎種別設計計画課監修)				
4. 総合図	※作成する ・ 作成しない				
5. 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事において、自ら立案した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事が完了までに所定の様式により提出することができる。(様式は工事運行マニュアルによる。)				
6. 負担金の支払	※本工事に含まない。( )				
7. アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。				
8. 中間技術検査	低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。				
9. アスベスト含有保温材の除去	除去工法 ※粉塵飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落とし、破砕・切断等による除去を行う。 ※ [ 9.1.3 ] アスベスト含有吹き付け材の除去により、作業場を隔離する。 上記によりほか建築工事標準仕様書による。 環境測定 ※改修機 〔建築工事種〕に規定されている測定機関				
10. 飲料水の水质	飲料水の水质検査は公的機関によるものとし、「文部科学省告示第60号学校環境衛生基準第2.1.(1)」に基づく検査項目(下記10項目)及び基準とする。 ア.一般細菌 イ.大腸菌 ウ.塩化水イオン エ.有機物等(TOC)の量又は過マンガナルカリウム消費量 オ. pH値 カ.味 ク.臭気 コ.色度 ク.濁度 コ.遊離残留塩素				
11. 建設工事における市内下請及び資材発注について	1 下請発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、工事の一部を下請企業に据付負せて施工しようとする場合には、下請企業を上越市内企業の中から選定するよう努めるものとする。 2 建設資材発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、建設資材を発注しようとする場合には、納入企業を上越市内企業の中から選定するよう努めなければならない。また、上越市産資材がある場合には、他に優先して使用するよう努めるものとする。				
12. 火災保険等	建設工事請負約款第51条に基づき、受注者は工事目的物及び工材材料(支給材料を含む)等を下記により火災保険、建設工事保険その他の保険(これに準ずるものを含む)に付すものとする。 1 保険の種類 保険の種類は、下記のいずれかとする。 1) 普通火災保険契約 2) 火災建築保険契約 3) 建設工事保険契約 4) 相互保険契約 2 保険の対象 工事目的物及び工材材料(支給材料を含む)に火災保険を付すものとする。 工事目的物: 工事出来高見込額相当分とする。 工材材料: 現場に搬入した検査済み工材材料とする。 支給材料: 受注者に引渡し済み支給材料。 但し、工事内容で基礎工事及び屋外工作物等については、保険に付する対象から除外することができる。また、継続工事での前回施設部分及び改築工事(修繕、改修、模様替え等を含む)での既設建築物部分は保険契約の対象としない。 3 保険の時期、期間、金額 加入期間及び金額は、受注者が下表により選択できる。				
13. 建設副産物の利用/搬出実績	請負金額が100万円以上となる工事については、建設副産物の利用・搬出実績を把握するため、再生資源利用[促進]計画書[実施書](国土交通省8-M-7)より9(9-1)可能)を作成し、CDにて提出する。				
14. CADデータ	設計図CADデータは、当該工事以外での使用を禁止する条件で、無償貸し出しする。				

規 格		用途・種別・施工部位				備考(接合工法等)		
名 称	番 号	備 考	給水管 一般	排水管 一般	消火管 一般		ガス管 一般	油管 一般
【給水及び給湯管】								
水道用硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 116	SGP-YA	○	○				○ねじ
〃	〃	SGP-YB	○	○				○ねじ
〃	〃	SGP-YD	○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 140	SGP-HVA	○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 132	SGP-PB	●	○				○ねじ
〃	〃	SGP-PD	○	○				○ねじ
一般配管用スチレンス鋼管	JIS G 3448		○	○				○ねじ
鋼及び鋼合金継目鋼管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○				○ねじ
外面被覆鋼管	JIS H3330		○	○				○ねじ
保温付被覆鋼管	JDA 0008		○	●				○ねじ
水道用硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	VP又はHP	○	○				○ねじ
水道用スチレンス鋼管	JIS K 6762		○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNMA K 144		○	○				○ねじ
水道用スチレンス鋼管	JIS K 6778		○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JIS K 6792		○	○				○ねじ
【排水及び通気管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管			●			○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管				○		○ねじ
排水用硬質塩化ビニル管	NSP 042							○ねじ
排水用スチレンス鋼管	NSP 032							○ねじ
排水用硬質塩化ビニル管	SHASE-6203							○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	○	○				○ねじ
〃	〃	WU						○ねじ
排水用耐熱性硬質塩化ビニル管	AS-58	REP-VU						○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6798	RF-VP						○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6797	RS-VU						○ねじ
耐火二層管	JIS A 5372	外圧管1種(B形)						○ねじ
コックパイプ	JIS A 5372	外圧管1種(B形)						○ねじ
【消火管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452				○			○ねじ
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454	STPG 370白管 SCH40						○ねじ
消火用硬質塩化ビニル管	NSP 041	SGP-YB			○			○ねじ
外面被覆鋼管	JIS G 3448							○ねじ
一般配管用スチレンス鋼管	JIS G 3448				○			○ねじ
【ガス管及び油管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管						○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLS					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	黒管					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLS					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
(注) ● 印及び■ 印を適用する。								
規 格		用途・種別・施工部位				備考(接合工法等)		
名 称	番 号	備 考	冷排水管 一般	蒸気管 一般	油管 一般		冷排水管 一般	補給水管 一般
【冷温水及び冷却水】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管	○	○				○ねじ
水道用硬質塩化ビニル管	JNMA K 116	SGP-YA	○	○				○ねじ
一般配管用スチレンス鋼管	JIS G 3448	SUS 304	○					○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLS					○	○ねじ
〃	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
【冷媒管】								
断熱材被覆鋼管	黒管は、JIS H 3300による							液 管: 〇保温厚10mm以上 ガ 管: 〇保温厚10mm以上 〇保温厚20mm以上
【空調用排水管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管					○	○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP					○	○ねじ
【補給水】								
水道用硬質塩化ビニル管	JNMA K 116	SGP-YA					○	○ねじ
【空気抜き管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管					○	○ねじ
【膨張管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管					○	○ねじ
(注) 冷媒管が液管の呼び径9.52以下は、保温厚8mmとしてよい。 ● 印及び■ 印を適用する。								

規 格		用途・種別・施工部位				備考(接合工法等)		
名 称	番 号	備 考	給水管 一般	排水管 一般	消火管 一般		ガス管 一般	油管 一般
【給水及び給湯管】								
水道用硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 116	SGP-YA	○	○				○ねじ
〃	〃	SGP-YB	○	○				○ねじ
〃	〃	SGP-YD	○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 140	SGP-HVA	○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 3/2インチ鋼管	JNMA K 132	SGP-PB	●	○				○ねじ
〃	〃	SGP-PD	○	○				○ねじ
一般配管用スチレンス鋼管	JIS G 3448		○	○				○ねじ
鋼及び鋼合金継目鋼管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○				○ねじ
外面被覆鋼管	JIS H3330		○	○				○ねじ
保温付被覆鋼管	JDA 0008		○	●				○ねじ
水道用硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	VP又はHP	○	○				○ねじ
水道用スチレンス鋼管	JIS K 6762		○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNMA K 144		○	○				○ねじ
水道用スチレンス鋼管	JIS K 6778		○	○				○ねじ
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JIS K 6792		○	○				○ねじ
【排水及び通気管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管			●			○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管				○		○ねじ
排水用硬質塩化ビニル管	NSP 042							○ねじ
排水用スチレンス鋼管	NSP 032							○ねじ
排水用硬質塩化ビニル管	SHASE-6203							○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	○	○				○ねじ
〃	〃	WU						○ねじ
排水用耐熱性硬質塩化ビニル管	AS-58	REP-VU						○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6798	RF-VP						○ねじ
硬質塩化ビニル管	JIS K 6797	RS-VU						○ねじ
耐火二層管	JIS A 5372	外圧管1種(B形)						○ねじ
コックパイプ	JIS A 5372	外圧管1種(B形)						○ねじ
【消火管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452				○			○ねじ
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454	STPG 370白管 SCH40						○ねじ
消火用硬質塩化ビニル管	NSP 041	SGP-YB			○			○ねじ
外面被覆鋼管	JIS G 3448							○ねじ
一般配管用スチレンス鋼管	JIS G 3448				○			○ねじ
【ガス管及び油管】								
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	白管						○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLS					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3452	黒管					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLS					○	○ねじ
配管用炭素鋼管	JIS G 3469	FLP					○	○ねじ
(注) ● 印及び■ 印を適用する。								

表 - 2 > 「発生材の処理等」  
1. 再生資材の利用  
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。  
再生資材名 規 格 使用箇所 再資源化施設名・所在地 備考

2. 建設発生土の利用  
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。  
発注機関 工事名 発生場所 施工会社名・連絡先 備考

3. 建設発生土の搬出  
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。  
発出先 搬出先 搬出先 備考

4. 建設廃棄物の搬出  
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。  
搬出する廃棄物名 金属くず 廃プラスチック ガラス陶磁器くず 保温材  
処理施設名 搬出先 備考

5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。  
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。  
7. 建設工事発注後に明らかになつたやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。  
表 - 3 > 工事区分表  
(注) 原則○印を適用する。

■躯体関係	項目	本工程	建築工事	電気工事
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付	○		
	補強を要する型枠材及び取付	○		
	補強を要しない型枠材及び取付	○		
	貫通孔・開口部の突出	○		
2. S・SRC造・梁貫通口	貫通孔・開口部の補強	○		
	S・SRC造貫通スリーブ・補強	○		
	使用されたスリーブの穴埋め	○		
3. 設備機器の基礎	予備スリーブの穴埋め	○		
	建築設計図に記入のあるもの	○		
■仕上げ関係	屋内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○		
	屋外・屋上の基礎	○		
■電気関係	地上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの	○		
	機器取付け用アンカー・梁骨	○		
■その他(工事区分を特に関連させない項目)	天井材の取外し再取付	○		
	各種配管配線作業用	○		
	床はつり補修	○		
■躯体関係	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○		
	補強を要しないボードの切り込み	○		
	開口部の突出	○		
■電気関係	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○		
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○		○
	機器と付属機器用モコン等の取付け及び渡り配管配線	○		○
	機器と付属機器用モコン等の取付け及び渡り配管配線	○		○
■躯体関係	便所手洗い・カウンタ	○		
	洗面化粧台	○		
■電気関係	洗面化粧台	○		
	24換気扇運動スイッチ	○		○
■躯体関係	湯沸器運動スイッチ	○		○
	湯沸器運動スイッチ	○		○

III. 改修特記仕様

1. 工事現場管理  
① 工事現場管理  
② 再生資材  
③ 固定された備品、机、クレーン等の移動  
④ 本工事で設置する仮設  
⑤ 養生  
⑥ 内容物の回収  
⑦ 撤去品の補修

2. 工事現場管理  
① 工事現場管理  
② 再生資材  
③ 固定された備品、机、クレーン等の移動  
④ 本工事で設置する仮設  
⑤ 養生  
⑥ 内容物の回収  
⑦ 撤去品の補修

3. 改修特記仕様  
① 工事現場管理  
② 再生資材  
③ 固定された備品、机、クレーン等の移動  
④ 本工事で設置する仮設  
⑤ 養生  
⑥ 内容物の回収  
⑦ 撤去品の補修

1. 既設配管の撤去	既設配管の撤去範囲は図示による。ただし、その位置で不具合と判断される場合は監督員と協議する。	2-2.8.2
2. 既設配管の搬出	下記の撤去材の集積場所は、監督員と協議する。 ( )	2-2.8.3
3. 既設配管の再生	工法 ( )	2-2.11
4. 埋設配管	調査箇所及びサンプリング数は、図示による。 ・埋設する部分の舗装等ははつり及び復旧工事の施工範囲及び舗装仕様は、図示による。 ・地盤対策は、図示による。 ・舗装、芝生、舗装、石貼、タイル等の移植及び撤去、復旧並びに再利用品等は、図示による。 ・システム全体の試験 ※行わない ・行方 ( )	2-2.1
5. 試験	既設配管を含む部分の試験方法は監督員と協議する。はつり作業を行う場合は、埋設配管等に損傷	

撤去 機器表

機器符号	名 称	仕 様	台数	設置場所	消費電力(定格)50HZ			備 考
					相	V	W	
FV-1	天井埋込換気扇	低騒音形 180 m3/h × 5mmAq 接続口径 150φ 電気配線取外し共	1	便所	1	100	23.0	
FV-2	天井埋込換気扇	樹脂製 60 m3/h × 5mmAq 接続口径 100φ	1	浴室	1	100	12.0	
FV-3	天井埋込換気扇	樹脂製 60 m3/h × 5mmAq 接続口径 100φ	1	脱衣室	1	100	12.0	
FV-4	レンジフード	ブース形 600W 480 m3/h × 10mmAq 接続口径 150φ 電気配線取外し共	1	湯沸室	1	100	78.5	

一時撤去・再取付 機器表

機器符号	名 称	仕 様	台数	設置場所	消費電力(定格)50HZ			備 考
					相	V	W	
WHE-1	電気温水器	丸形 タンク容量 370L 残湯表示付リモコン	1	倉庫	1	200	4.4kw	三菱電機
					1	100	8.0	SRE-3743-BL
HEX-1	全熱交換形換気扇	天井吊り形 120 m3/h × 5mmAq 接続口径 150φ 電気配線取外し・再取付共	1	事務室	1	100	81.0	

撤去 器具表

器 具 名	仕 様 ・ 参 考 型 番	室 名	浴 室	脱 衣 室								合 計	
ユニットバス	(建築) W 1200 x L 1700				(1)								(1)
手 洗 器	L220S, T205, T6P, T4A, TS126AR, TL220D												1
化 粧 鏡	TS119ASR3 (363x455)												1
化 粧 棚	S-3												1

新設 機器表

機器符号	名 称	仕 様	台数	設置場所	消費電力(定格)50HZ			備 考
					相	V	W	
FV-1	天井埋込換気扇	樹脂製 180 m3/h × 50 Pa 接続口径 150φ 電気配線再取付共	1	便所	1	100	21.5	VD-17ZSC10
FV-2	天井埋込換気扇	ユニットシャワー付属品 接続口径 150φ	1	ユニットシャワー	1	100		
FV-3	天井埋込換気扇	樹脂製 120 m3/h × 60 Pa 接続口径 100φ	1	脱衣室	1	100	14.0	VD-15ZC10
FV-4	レンジフード	ブース形 600W 480 m3/h × 140 Pa 接続口径 150φ 電気配線再取付共	1	湯沸室	1	100	132.0	V-605K7

新設 器具表

器 具 名	仕 様 ・ 参 考 型 番	室 名	ユ ニ ッ ト シ ャ ワ ー	脱 衣 室									合 計
ユ ニ ッ ト シ ャ ワ ー	(建築) W 1700 x L 1200 シャワー金具、横引きトラップ、天井埋込換気扇、他一式共 (機械設備) 給水、給湯、排水、換気ダクト接続		(1)										(1)
カウンター一体形洗面器	カウンター MK55 L=900 (プレーン)ニ方エプロン、シングルレバー混合栓TLS04303JA、止水栓×2 排水金具MX540、ブラケット、他一式共			1									1
耐 食 鏡	YM4560F (450x600)			1									1
化 粧 棚	TS121SP4			1									1
洗 濯 機 パ ン	(建築) W 600 x L 600 横引きトラップ付			(1)									(1)
洗 濯 機 用 横 水 栓	TW11R			1									1
タ オ ル 掛 け	TS113W (ダブル L=625)			1									1

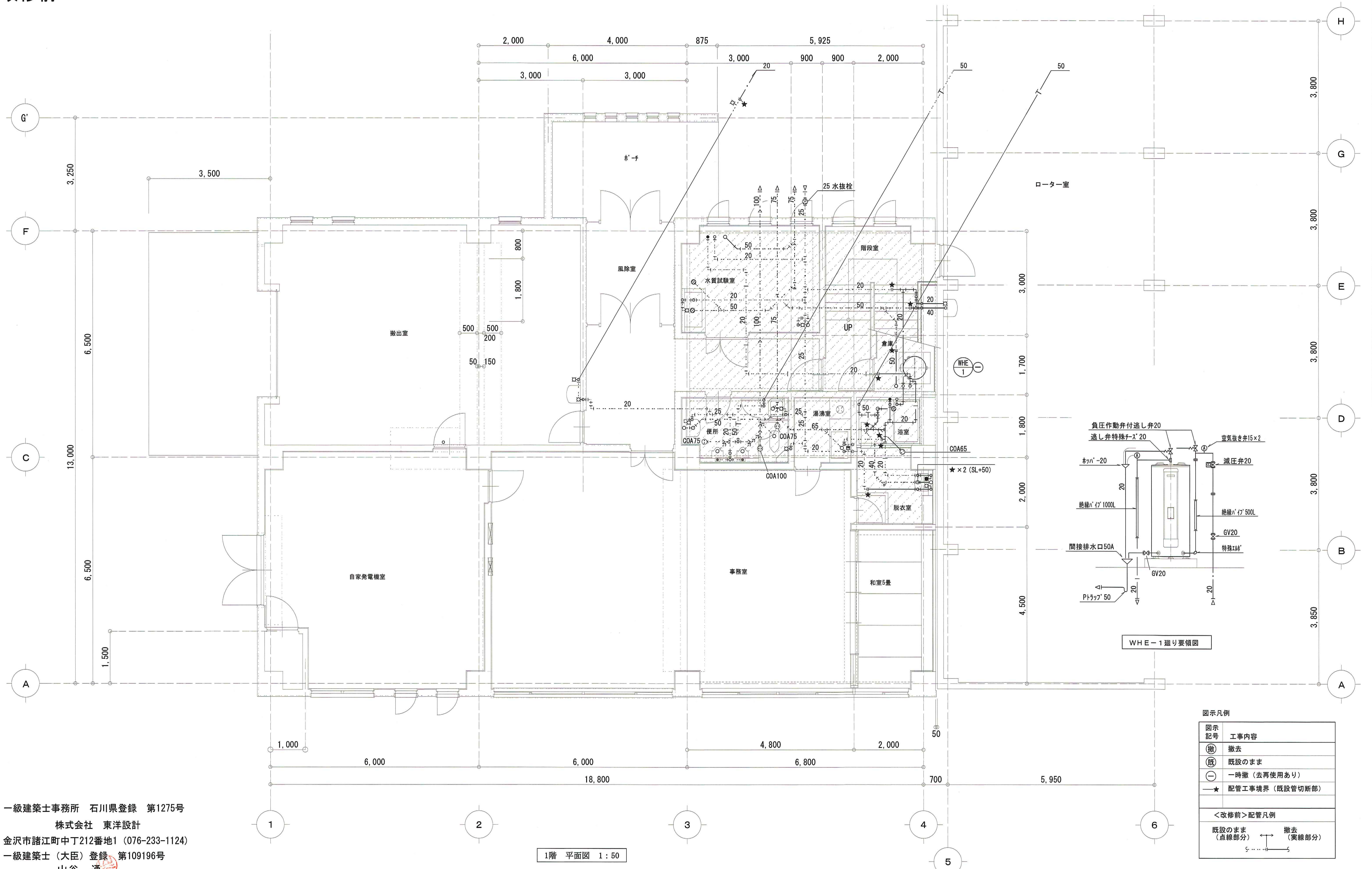
配管仕様

記 号	名 称	施工場所	材 質	規 格	備 考
— —	給 水 管	屋 内 一 般	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PB)	JWWA K 132	
— —	給 湯 管	屋 内 一 般	銅管	JIS H 3300	
—T—	雑 排 水 管 通 気 管	屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741	

一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
株式会社 東洋設計  
金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
一級建築士(大臣)登録 第109196号  
山谷 通

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	N, S	図面番号	AM-01
図面名称	機械設備 機器表・器具表 (改修前・後)	日付	31/03/06		

改修前



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

1階 平面図 1:50

図示凡例

図示記号	工事内容
(撤)	撤去
(既)	既設のまま
(一時撤)	一時撤 (去再使用あり)
(★)	配管工事境界 (既設管切断部)

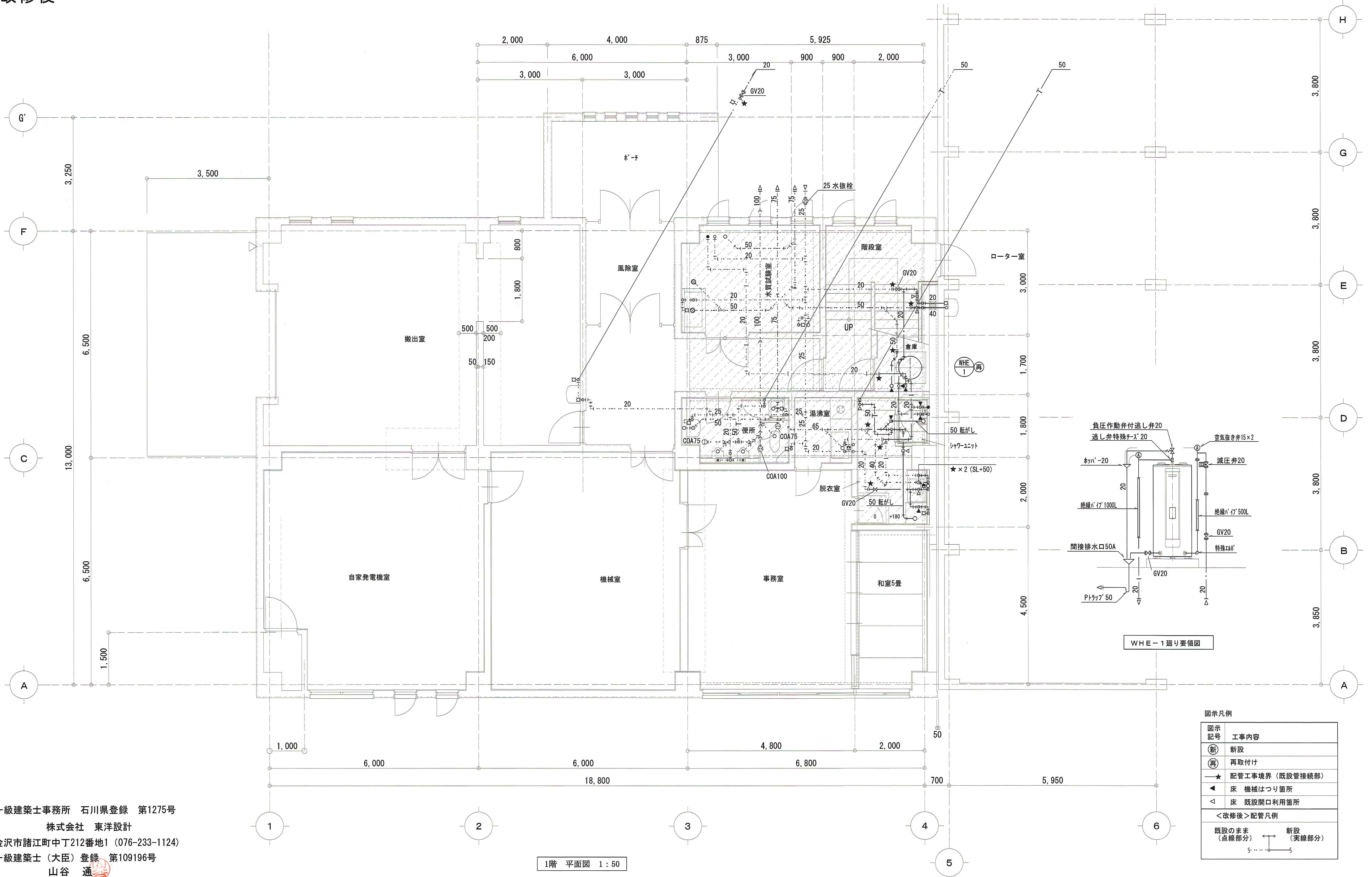
<改修前>配管凡例

既設のまま (点線部分)	撤去 (実線部分)
--------------	-----------

: 下部配管ピットを示す。

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号	AM-02
図面名称	衛生設備 1階 平面図 (改修前)	日付	31/03/06		

改修後



図示凡例

図号	工事内容
新	新設
再	再取付け
★	配管工事境界 (既設管接続部)
◀	床 機械はつり箇所
◁	床 既設開口利用箇所
＜改修後＞配管凡例	
既設のまま (点線部分)	新設 (実線部分)

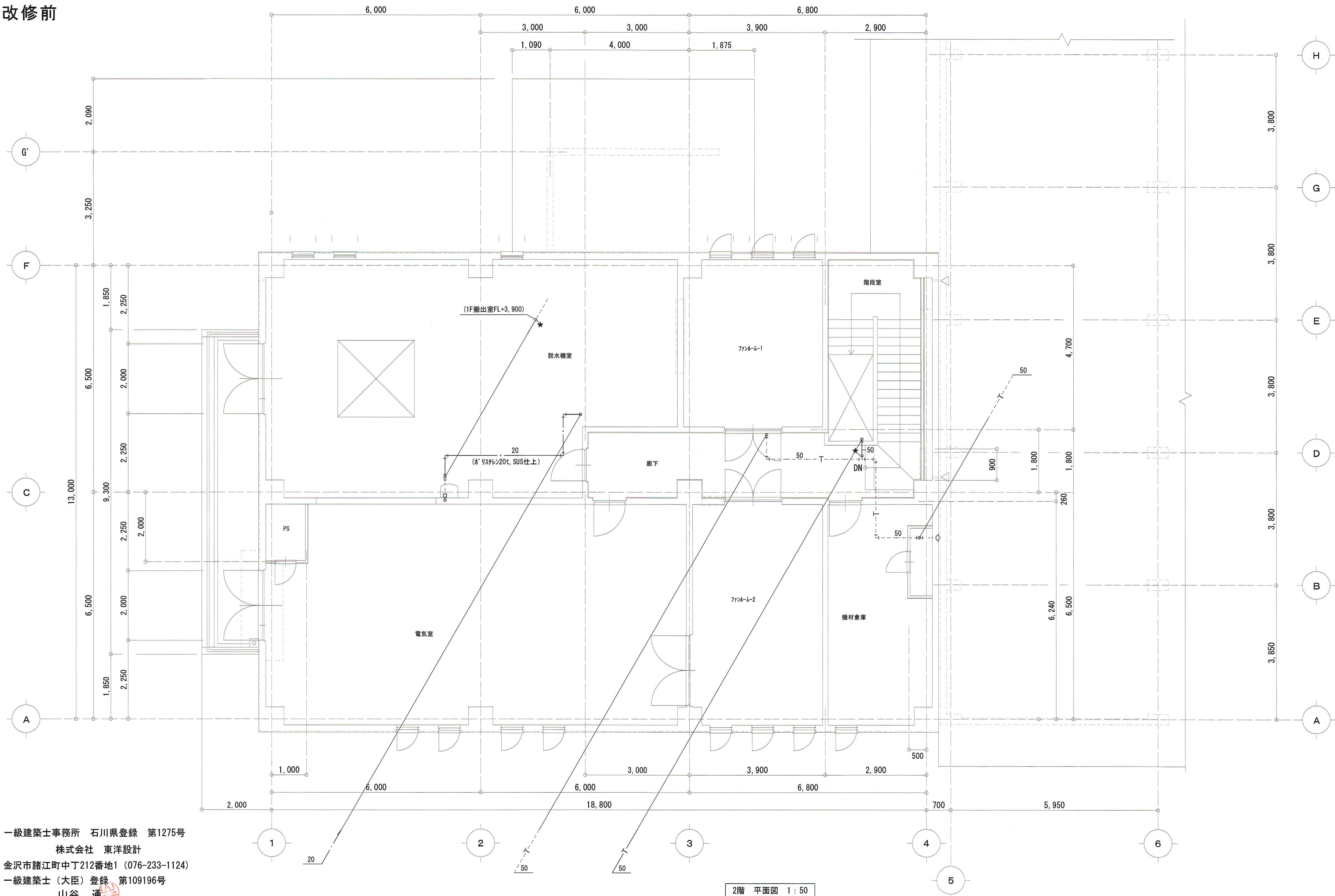
一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士 (大臣) 登録 第109196号  
 山谷 通

1階 平面図 1:50

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 AM-03
図面名称	衛生設備 1階 平面図 (改修後)	日付	31/03/06	

下部配管ピットを示す。

改修前

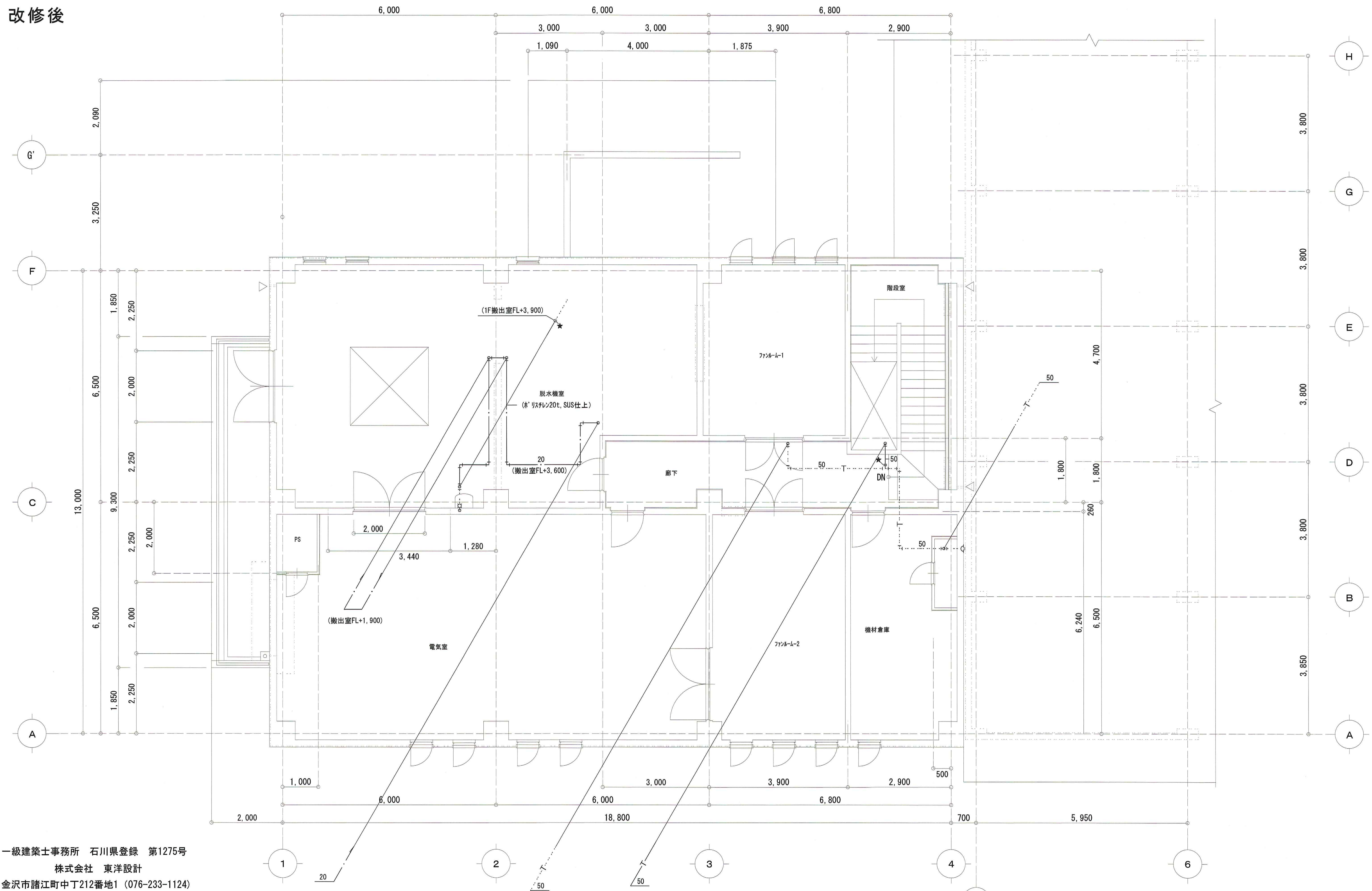


一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士 (大臣) 登録 第109196号  
 山谷 通

2階 平面図 1:50

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号
図面名称	衛生設備 2階 平面図 (改修前)	日付	31/03/06	
				AM-04

改修後

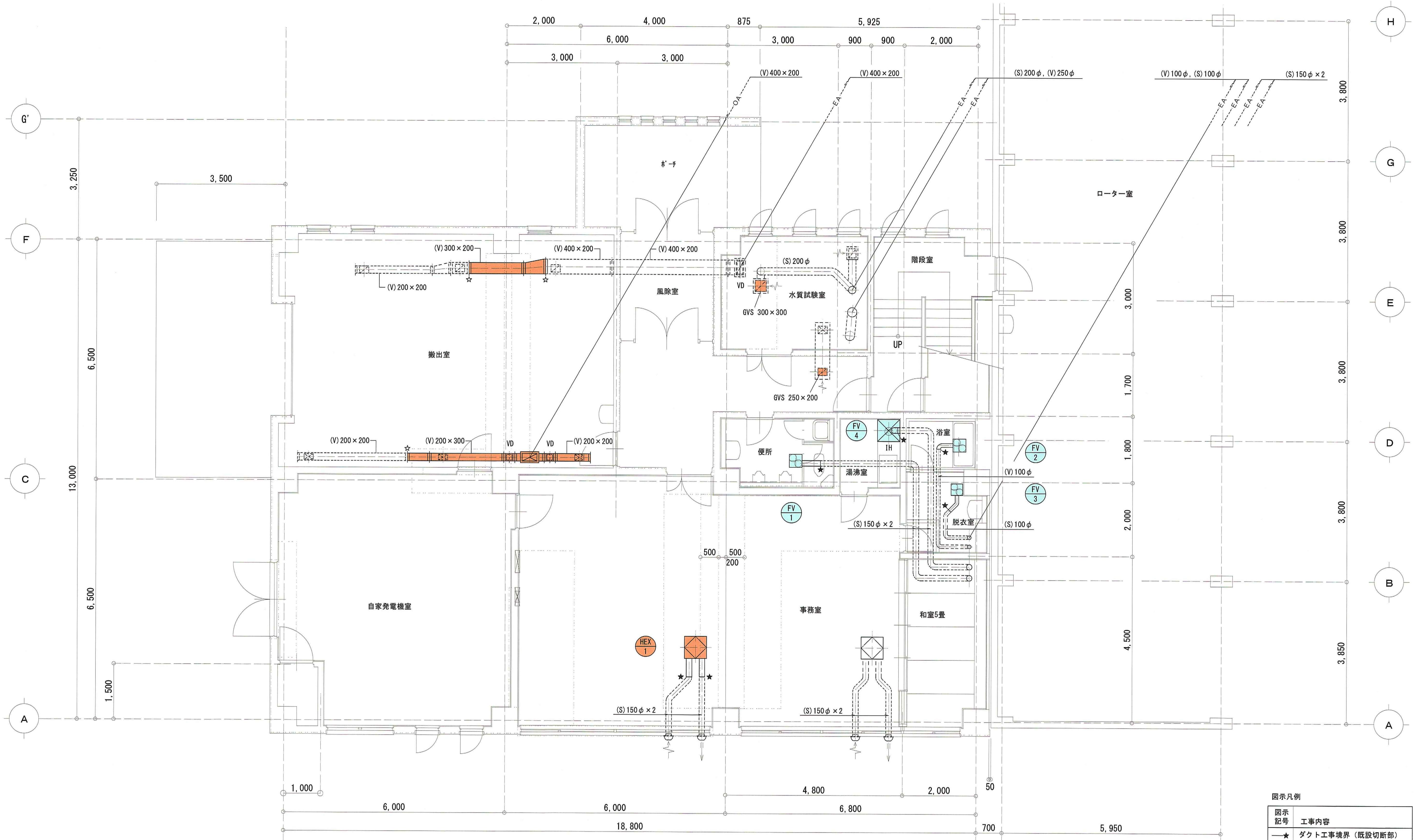


一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士 (大臣) 登録 第109196号  
 山谷 通

2階 平面図 1:50

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 AM-05
図面名称	衛生設備 2階 平面図 (改修後)	日付	31/03/06	

改修前



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

1階 平面図 1:50

撤去範囲  
 一時取外し範囲

ダクト材質  
 ・(V):塩化ビニル製  
 ・(S):亜鉛鉄板製

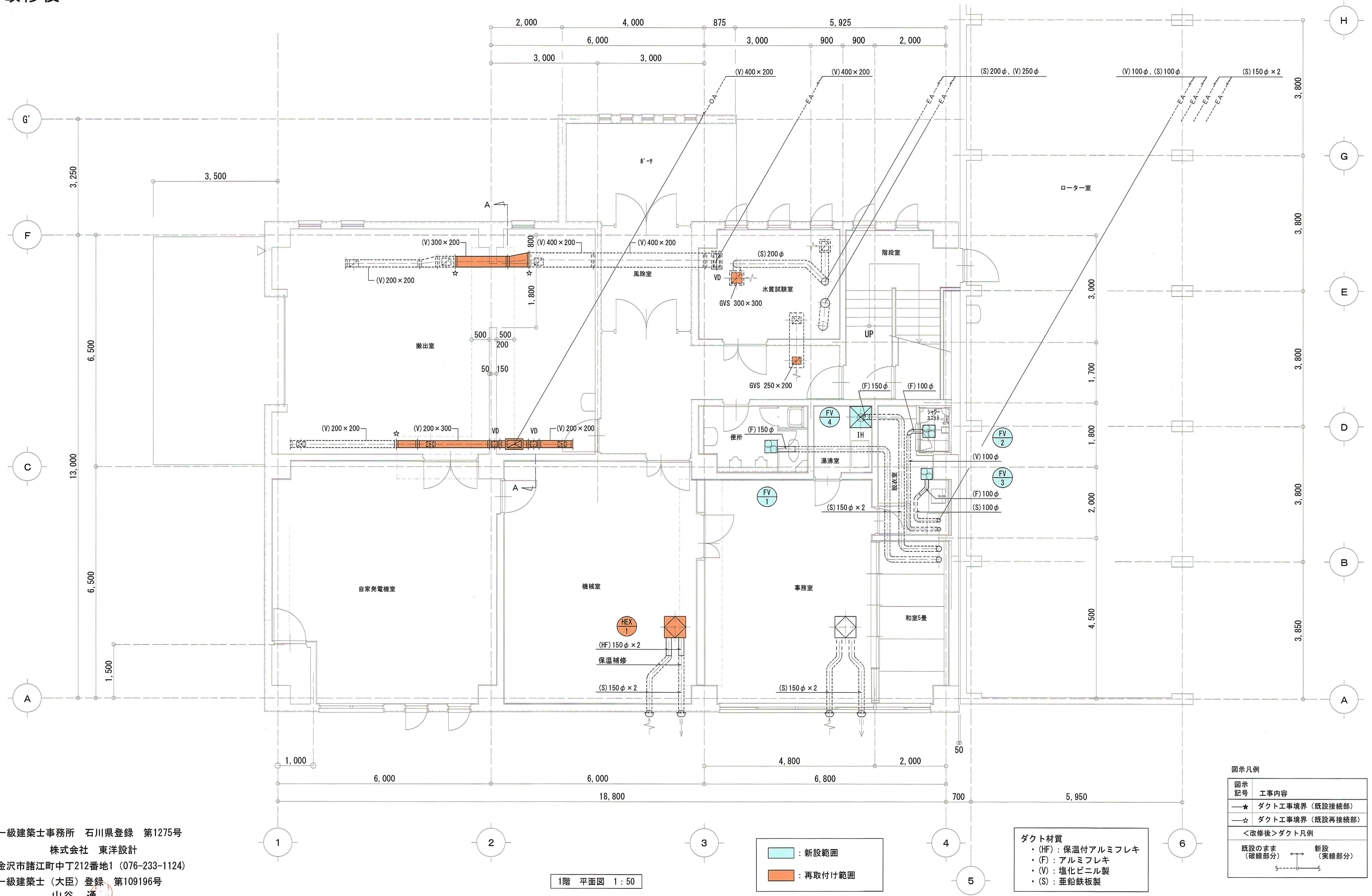
図示凡例

図示記号	工事内容
—★	ダクト工事境界(既設切断部)
—☆	ダクト工事境界(既設取外し部)
＜改修後＞ダクト凡例	
既設のまま(破線部分)	撤去(実線部分)

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号
図面名称	換気設備 1階 平面図 (改修前)	日付	31/03/06	



改修後



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

1階 平面図 1:50

■ : 新設範囲  
 ■ : 再取付け範囲

ダクト材質  
 ・(HF) : 保温付アルミフレキ  
 ・(F) : アルミフレキ  
 ・(V) : 塩化ビニル製  
 ・(S) : 亜鉛鉄板製

図示凡例

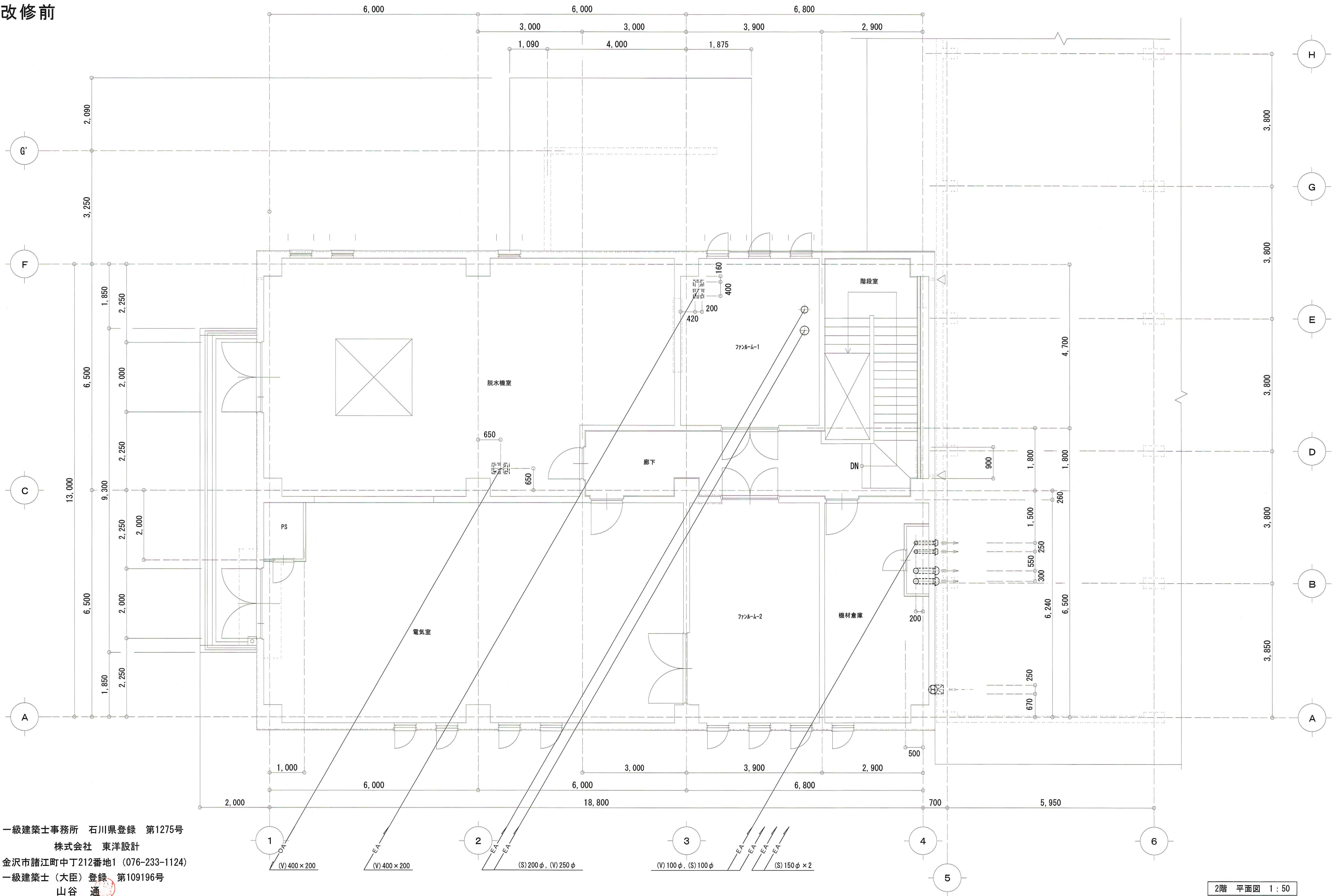
図示記号	工事内容
—★	ダクト工事境界 (既設接続部)
—☆	ダクト工事境界 (既設再接続部)
＜改修後＞ダクト凡例	
—	既設のまま (破線部分)
—	新設 (実線部分)

工事名称 名立浄化センター管理棟 耐震補強工事  
 図面名称 換気設備 1階 平面図 (改修後)

縮尺 1:50  
 日付 31/03/06

図面番号 AM-07

改修前



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

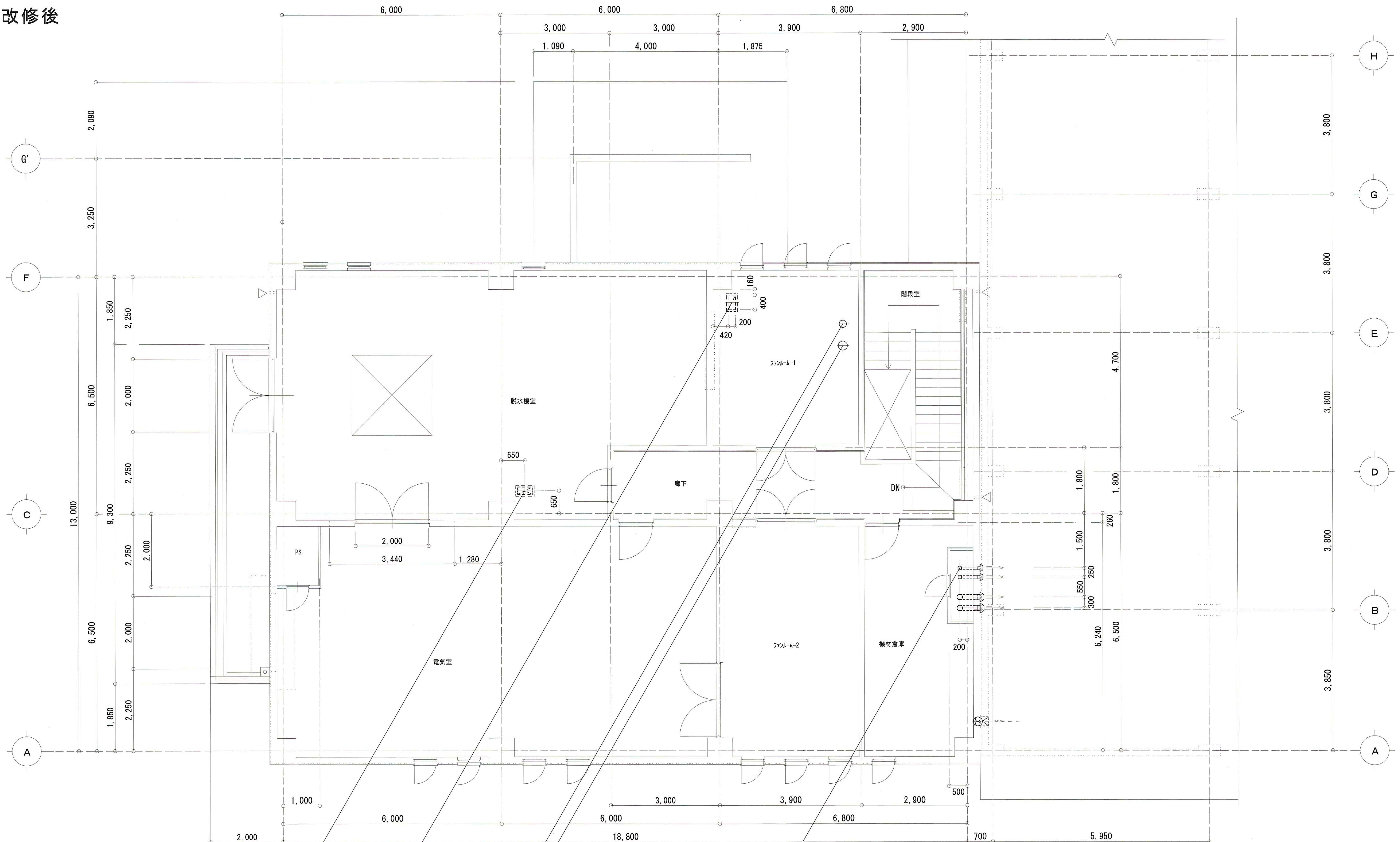
2階 平面図 1:50

工事名称 名立浄化センター管理棟 耐震補強工事  
 図面名称 換気設備 2階 平面図 (改修前)

縮尺 1:50  
 日付 31/03/06

図面番号 AM-08

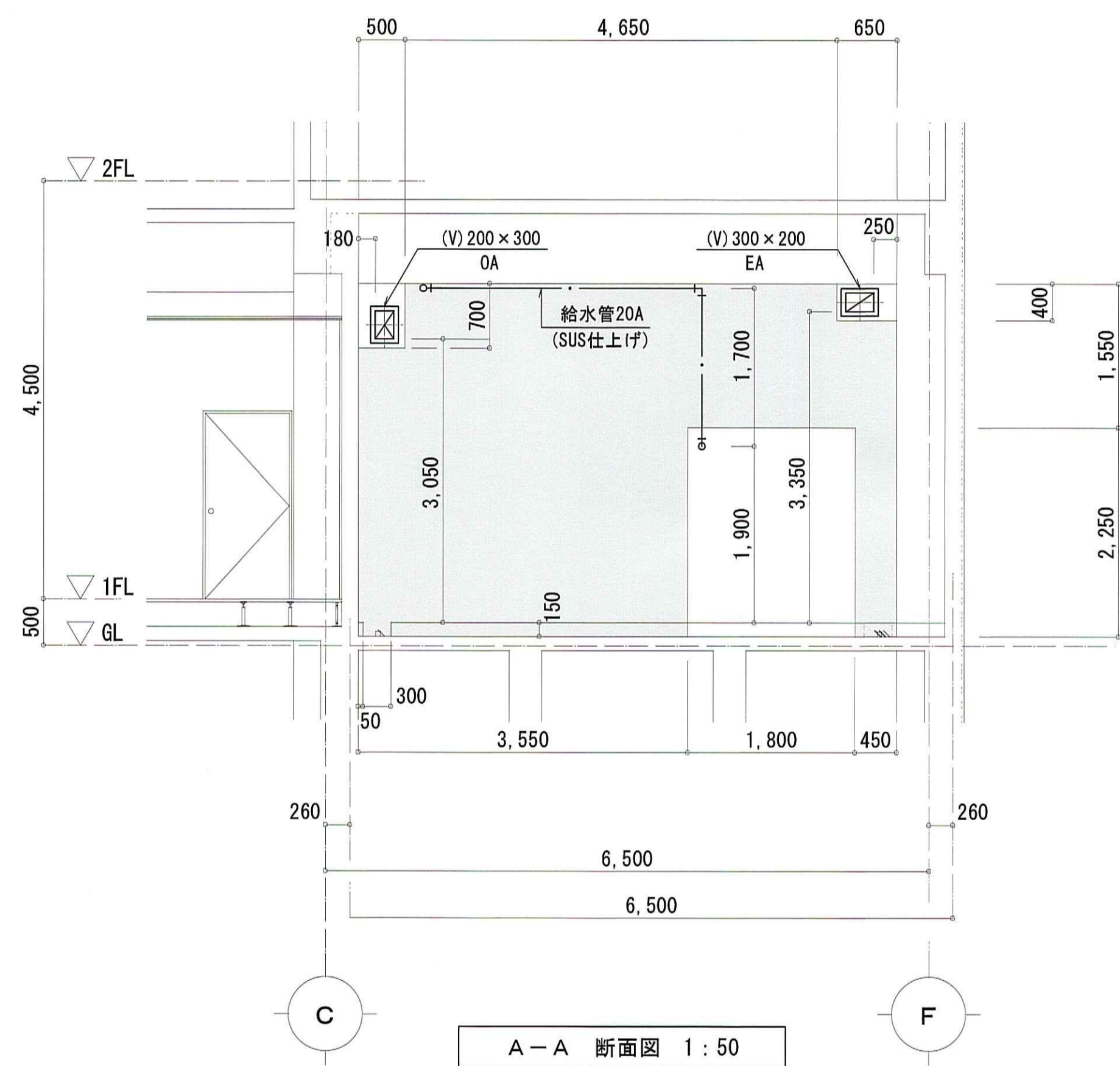
改修後



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

2階 平面図 1:50

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 AM-09
図面名称	換気設備 2階 平面図 (改修後)	日付	31/03/06	



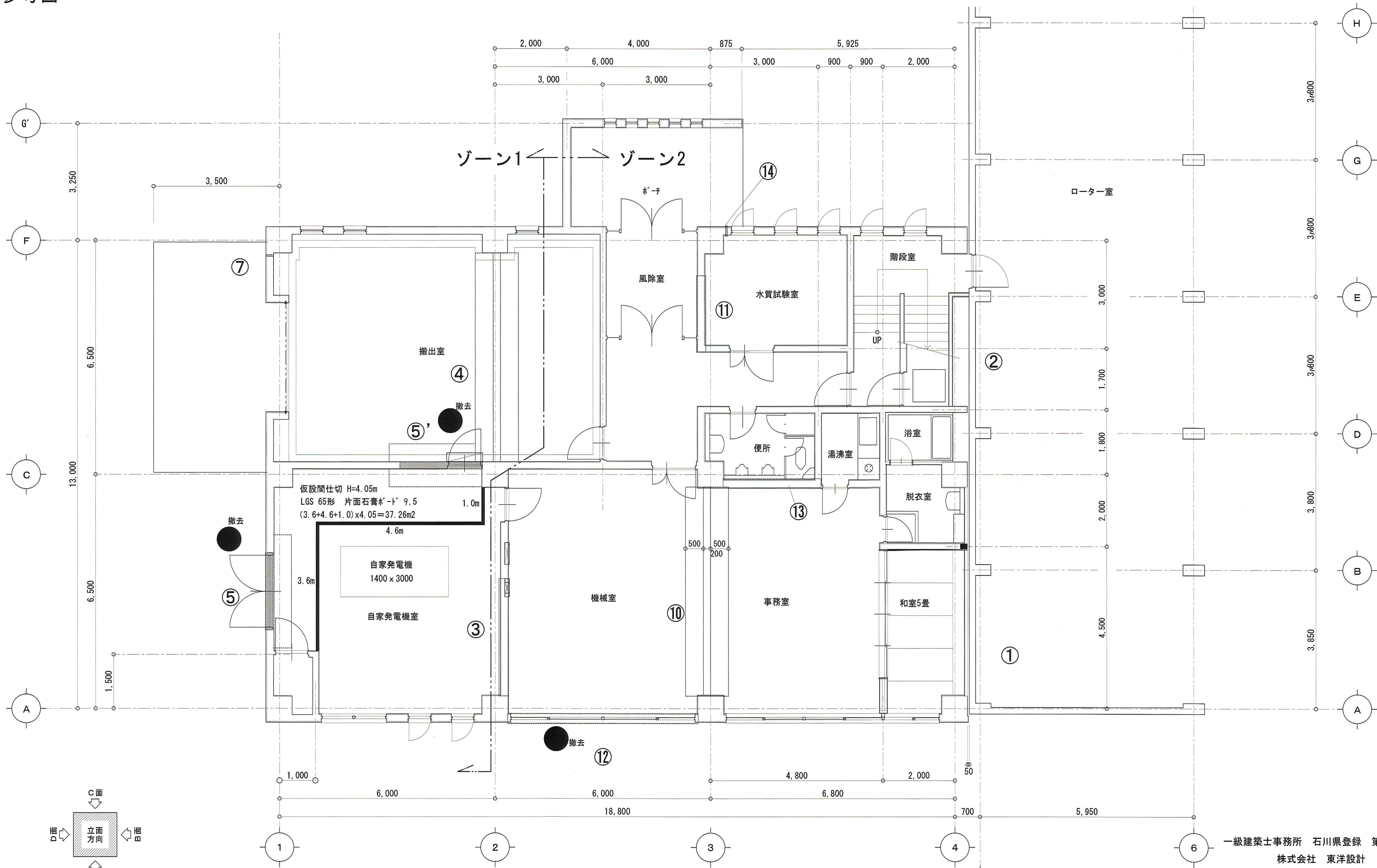
A-A 断面図 1:50

■ : 新設耐力壁 (建築)

一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士 (大臣) 登録 第109196号  
 山谷 通

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 AM-10
図面名称	1階 搬出室 断面図 (改修後)	日付	31/03/06	

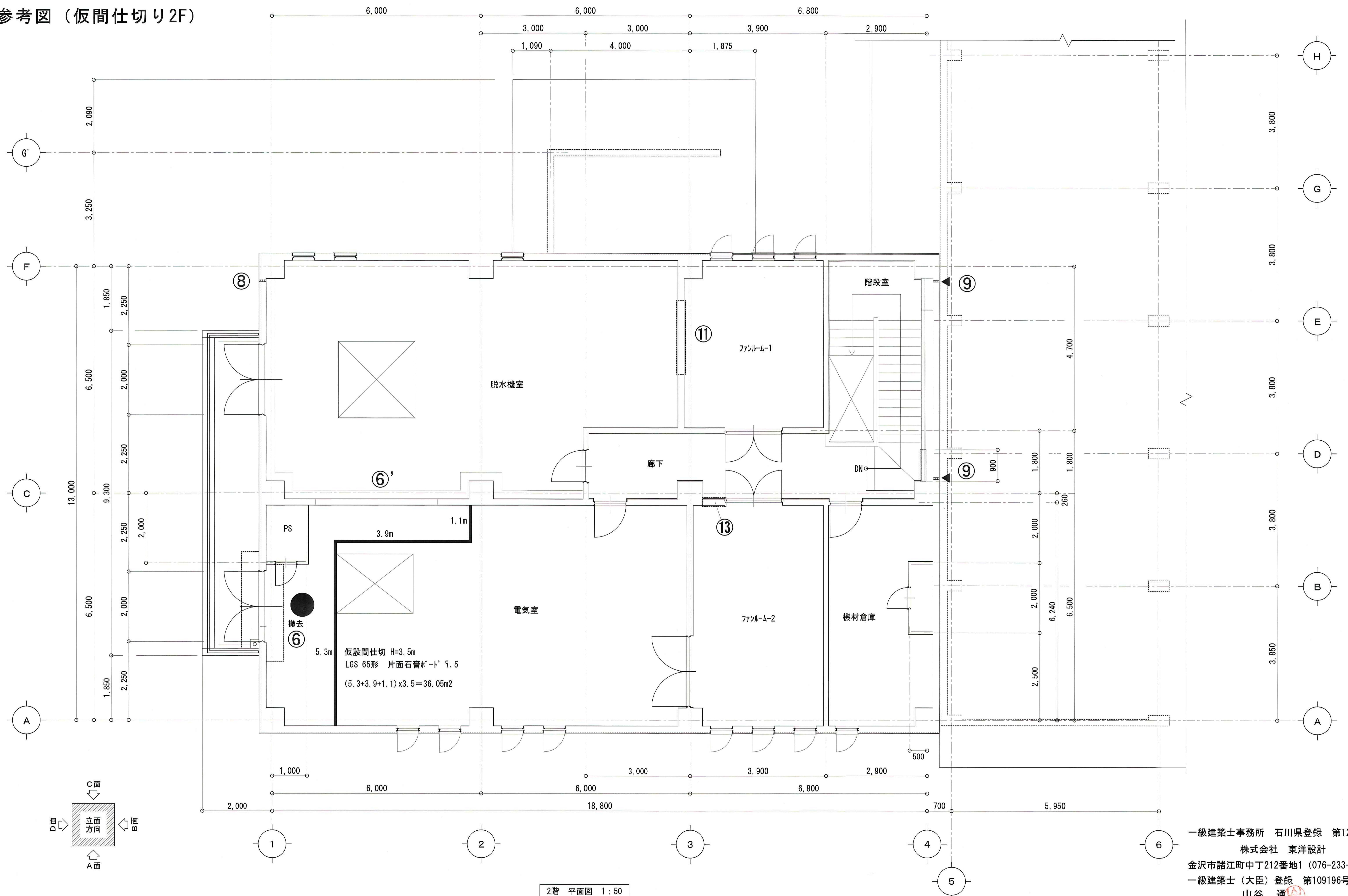
参考図



一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
株式会社 東洋設計  
金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
一級建築士(大臣)登録 第109196号  
山谷 通

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 参考図 -01
図面名称	参考図 1階仮設間仕切図	日付	31/03/06	

参考図 (仮間仕切り2F)



2階 平面図 1:50

一級建築士事務所 石川県登録 第1275号  
 株式会社 東洋設計  
 金沢市諸江町中丁212番地1 (076-233-1124)  
 一級建築士(大臣)登録 第109196号  
 山谷 通

工事名称	名立浄化センター管理棟 耐震補強工事	縮尺	1:50	図面番号 参考図 -02
図面名称	参考図 2階仮設間仕切り図	日付	31/03/06	